

# 文連ニュース

No. 15  
2022年8月9日

発行／飯塚文化連盟  
〒820-0041 飯塚市飯塚14-67  
TEL0948-22-3274(コミセン4F)

## 2022年度 第8回 飯塚文化連盟総会

一広げよう 育もう 地域の力 文化の芽一

本年度もコロナ対策の為縮小して開催。2022年4月17日(日) 飯塚コミュニティセンター401号室にて各団体1名の参加とし、市長代理の武井教育長、松延市議会議長の祝辞を受けた後、議長に横田正氏(合唱)を選出し、令和3年度事業報告及び決算、令和4年度事業計画及び予算などすべて原案通り承認可決された。

また、運営委員の選出もコロナ禍を考慮し、昨年と同様の手続きがとられた。最後に新入会2サークルの紹介があり、満場の拍手で迎えられ2022年度が動き出した。

### 新加入サークルの紹介

#### 清友宗俊会 代表 多田俊子

皆さまと茶道を通じて和敬の道を進んでいます。愛宕幼稚園、飯塚第一中学校茶道部また自宅での茶道の稽古や裏千家淡交会筑豊支部での活動と皆さまと共に歩んでいます。茶道心和会(裏千家と表千家合同の活動)では地域への茶道文化も進めてまいりたく思います。よろしくお願いいたします。

#### 三河家劇団 代表 竹川智治

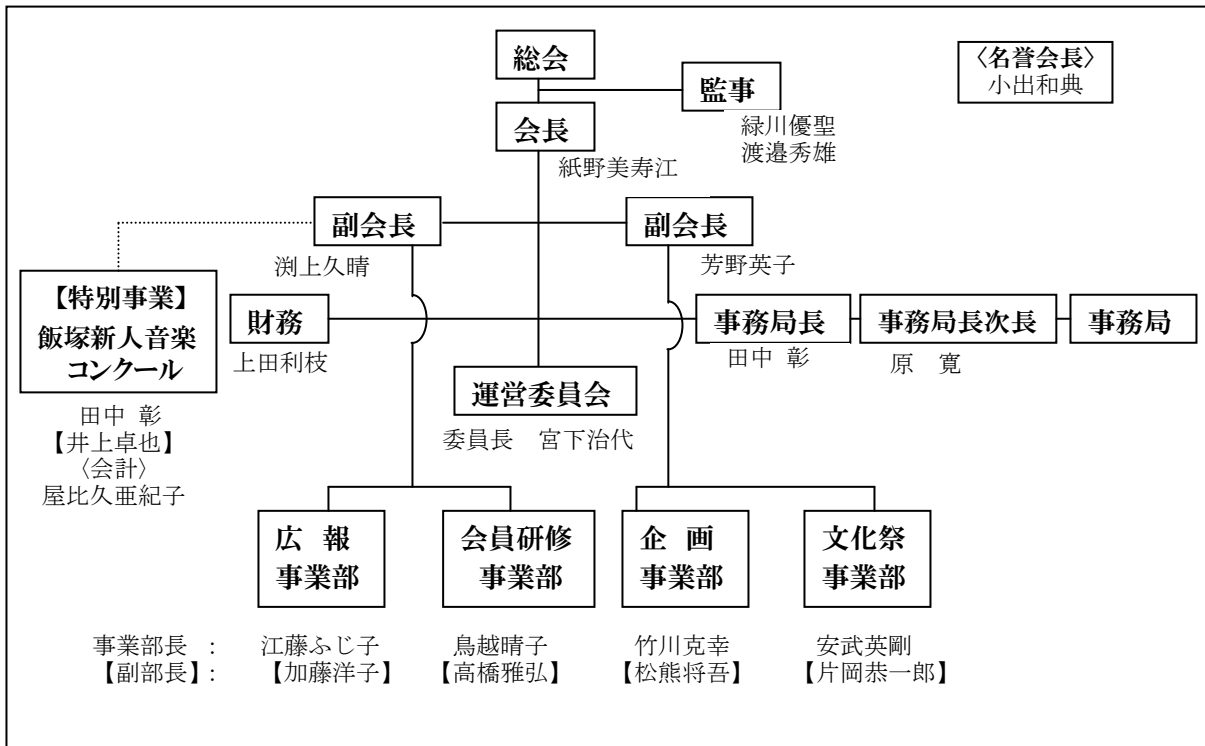
我々三河家劇団は、五代続いた伝統の時代劇を軸に、唄と舞踊のバラエティー豊かなショーをおり混ぜ公演を行って参りました。これからは、その経験を元に社会貢献、社会福祉活動を行い、飯塚文化連盟の名に恥じぬよう活動して参ります！

いかなる場所、場面でも本気の舞台をお届け致します！どうぞ宜しくお願い致します。



## 令和4年度飯塚文化連盟組織図

(敬称略)



## 【4事業部の構成スタッフ】

(敬称略)

	広報事業部	会員研修事業部	企画事業部	文化祭事業部
事務局	許斐富子 西園雅代	大上泰治	井上卓也	原寛 瀧本賢一 仲野龍星
運営委員	春すみれ (器楽) 山崎雅子 (合唱) 宮下治代 (演劇) 渡邊秀雄 (川柳) 迎千栄美 (洋舞) 藤 啓子 (箏曲)	中村昭二郎 (写真) 大港直美 (歌唱) 杉本禎泉 (華道) 坂本禎峰 (吟詠) 河野聡子 (総合)	林 智之 (器楽) 御幡 岬 (洋舞) 智賀聖世 (日舞) 若柳紀雀 (民踊) 千草玉風 (新日舞) 池田富男 (演劇) 寺尾禮三 (俳句)	原田敏規 (絵画) 市川 修 (合唱) 木月晶子 (能楽) 新開初美 (茶道) 安武照雅 (書道) 三宅澄子 (彫壺工芸) 竹森正貢 (音楽) 安永 圭 (茶道)

# 第41回 飯塚新人音楽コンクール 無事終了!!



## (予選) 5月3日~4日

ピアノ部門31名、声楽部門39名の応募を得て、昨年に引き続き審査員だけ来飯していただき、DVDによる映像審査をコスモスコモンで行った。予選当日は文連事務局スタッフと文化課で対応し、ボランティア要請はコロナ対策の一つとして取り止めた。高レベルの内容で終始し、その中からピアノ部門17名・声楽部門14名が本選へ進んだ。

## (本選) 6月5日



予選を通過したピアノ部門17名・声楽部門14名。一人の辞退者もなく3年ぶりに有観客で開催。表彰式と「審査員を囲むティーパーティー」は中止。本番直前のリハーサル復活。初めてのライブ配信は反響の大きさを感じた。ボランティアの要請を中止した為、当日は文連事務局スタッフと文化課、市職員に応援を依頼し、大過なく終了。驚愕のレベルの競演で静粛な中での熱気に満ちた本選であった。

## 入賞者

<b>ピアノ部門</b>	第1位	鶴原壮一郎(東京都)	<b>声楽部門</b>	第1位	山田 知加(滋賀県)
	第2位	佐藤 陽十( " )		第2位	下林 一也(大阪府)
	第3位	安野 美咲( " )		第3位	内 夏美(長崎県)

※第41回飯塚新人音楽コンクール入賞者招待演奏会は、イツカコスモスコモン大規模改修の為中止となりました。



## 40年の研鑽歴史で開花近づく

—41回飯塚新人音楽コンクールを終えて—

飯塚文化連盟名誉会長 小出和典

今年第41回新人音コン本選も無事終わりましたが、出場者の演奏レベルが、ピアノ・声楽とも軒並み跳びぬけて優れきて、次々と客席を酔わせる雰囲気招き、思わず快哉を叫ぶ感でした。

例えばピアノ 1 位・鶴原壮一郎氏のプロコフィエフ作曲「風刺」の演奏では、作者の言いしれぬ”おもい”が、本人自身の深き心の底からの思いとして、全身から吐露され、その心は客席の心に突き刺さりました。僅か 19 歳(東京芸大 2 年生)の彼でしたが、演奏技術はとつくに超えて、作品の心を如何に表現するかが、本人の命題となっていたのには驚きでした。声楽 1 位・山田知加氏の場合も、堂々たる声量と率直な動きで、主題の心を芯に唄い、客席にドラマを深めました。さらに伴奏ピアノはこのコンクール常連のベテラン・藤江圭子氏で、独唱・山田氏と正に一体で、作品のテーマを見事に際立たせました。ピアノ審査の先生・岡本美智子氏(桐朋学園特命教授)は、「全体レベルがとても高い！技術を超えて表現力・個性がしっかり出ていた」と。

41 回を終えた新音コンですが、特にこの近年その内容が優れきていることは、本当にうれしい限りです。それは発足以来真摯に努力を重ねてきたスタッフの、他には無い特徴を堅持研鑽してきていることが大きいと思います。 一曰く、\*審査員が日本のトップクラス \*大きな贈賞 \*きめ細かな運営 そして\*課題曲なし、自由曲のみの演奏審査、です。中でも、自由曲だけで出場できるという、他にはない魅力が飯塚新音コンにはあったと思います。それは本人の興味あるジャンルでの作品だけに、その作品への関心の深さと理解の鋭さが、作品の心をしっかりと掴み表現できることになるからです。

第 18 回声楽大賞の鈴木慶江氏は、その後 NHK の紅白歌合戦にクラシック歌手としては初めて出場するなど、日本のトップクラスのソプラノ歌手ですが、彼女のことは「私が今まで在るのは飯塚新人音楽コンクールのお陰です。あの時は自由曲でフランクに唄えました。」とも。

ともあれ、音楽芸術の真髄は、確かな演奏を通じて作品の心を第三者の心に届ける、言い替えば「作品の心が第三者の心を打つ」ことですから、飯塚新音コンは 40 年の研鑽歴史でここまで近づいて来たことを、お互い慶びたいと思います。

## 令和4年度 第1回運営委員会開催

コロナ禍の中新メンバーによる、第1回運営委員会が7月12日(火)に  
イツカコミュニティセンター401号室で開催。  
運営委員長に宮下治代氏(演劇)を選出し、宮下氏を議長として議事が進め  
られ、下記のこと決定された。

- ◎ 運営委員の所属事業部決定
- ◎ 各事業部長よりコロナ禍の中での令和4年度事業計画  
取り組みについて
- ◎ 年間スケジュール確認
- ◎ 書記退職対応について

## 令和4年度 第8回 飯塚総合文化祭



【会期】10月14日(金)～11月13日(日)

8月1日(月)文化祭事業部会議開催  
文化祭事業正副部長、5会場実行委員長、会長、副会長、文化祭運営委員、文化課で協議  
をし、下記の内容で開催にむけて準備をすることが決定された。

- ◆飯塚会場…10月14日～11月13日 【イツカコミュニティセンター】  
コスモスコモンが使用できない為イツカコミュニティセンターのみで開催。  
一部のサークルは穎田・穂波会場で調整。今年も例年のようなプログラム作成  
なし。記録用プログラムのみ作成。
- ◆穂波会場…11月12・13日 【穂波交流センター】  
例年会場(展示関係)としていた穂波体育館は使用しない。
- ◆穎田会場…10月29・30日 【穎田交流センター(旧サンシャインかいた)】
- ◆庄内会場…11月 5・6日 【庄内交流センター】
- ◆筑穂会場…11月12・13日 【筑穂交流センター】

### ※令和4年度第55回飯塚市美術展(市展)

会期10月19日(水)～10月30日(日)

絵画・書道・写真・彫刻工芸・デザイン・5部門で作品募集。  
コスモスコモン大規模改修で、コミュニティセンターのみでの開催になり会場が  
手狭になる為、絵画・書道部門の賛助会員は出品要請取り止め。

## 令和4年度 筑前の國いづか街道まつり…中止

10月23日に縮小して開催予定だったが、コロナ感染者急増の為、8月2日  
の実行委員会で中止が決まった。

## ”会員研修旅行 今年も中止 代替に 文化講演会開催”

「今年こそは」と楽しみにしていた9月恒例の会員研修旅行は、コロナの急激な感染者数増加で止むを得ず中止が決定された。

代替に昭和42年に旧市飯塚文化連合会(当時)の創設者であります、小出和典名誉会長を講師に迎え、下記のように開催予定。詳細は追ってお知らせします。

- ・期日 令和4年11月13日(日)
- ・時間 10:30~12:00
- ・会場 イイツカコミュニティセンター301・302号

## 飯塚市穂波福祉総合センターより ギャラリー展示依頼

- ・期 間 … 一団体10日間程度(令和4年9月19日まで展示予定あり)
- ・場 所 … 穂波福祉総合センター エントランスホール
- ・問い合わせ先… ☎ 0948-21-6330 担当 センター長

## 筑豊文化団体連合会(筑豊文連)会長に紙野美寿江氏再任

6月21日(火)イイツカコミュニティセンター展示ホールにおいて筑豊文連の総会を兼ねた令和4年度第一回理事会が開催され、本年度は役員改選の年にあたり紙野美寿江会長が満場一致で再任。

事務局は引き続き飯塚文化連盟内に設置され、早速「第30回ふくおか県民文化祭2022」の地域別事業「やるばい筑豊」に向けてスタートした。

## 書記 林田末香さん 永い間ありがとうございました!

平成4年9月1日に旧市時代の文連第一号書記として採用。

当時、飯塚新人音楽コンクール担当の事務局スタッフが本業の傍ら膨大な事務量を熟していたが、体調を崩すことが多くなり事務局員の負担を軽減する為、新音コン書記としてお願いすることになった。

それから30年間、優しく温かく真摯に務めていただきました。

感謝の言葉もありません。8月31日に退職されます。本当に永い間お疲れさまでした。

## お知らせ

- 新しく飯塚新人音楽コンクール書記に飯田智代さんを迎えました。事務引継ぎの為7月1日より執務。どうぞ宜しくお願い致します。
- 福岡県文化団体連合会(県文連)が創立30周年。平成4年11月24日発足。県民文化の一層の振興を図るため、県民の多種多様な文化活動に対して尊重しながら支援を行い、現在主に県民文化祭等に力を入れている。

記念式典 令和5年1月31日 (於 西鉄グランドホテル)





## 〈 コロナ禍における活動中止及び順延サークル 〉

- 3/20 嘉穂高等学校楽友会  
第47回嘉穂高等学校楽友会定期演奏会 (コスモスコモン大ホール)
- 3/23 嘉穂高等学校楽友会 福岡県立嘉穂高等学校創立120周年記念  
吹奏楽部第55回定期演奏会 (コスモスコモン大ホール)
- 4/3 ムジカンテ・アマーノ Musicante Ameno concert XVI (コスモスコモン中ホール)
- 7/30 茶道裏千家淡交会筑豊支部 祇園ふれあい茶会 (二瀬交流センター)

## これからの活動 ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶

- 9/11 三河家劇団 芸能生活30周年記念 三河家桃太郎特別公演 (なつき文化ホール)
- 10/9 筑豊フィルハーモニー管弦楽団 オーケストラ in 直方  
第8回定期演奏会 (ユメニティのおがた大ホール)
- 12/6 '22文連パーティ (パドドゥ・ル・コトブキ)